

保育おおさか

平成18年1月1日 第365号

大阪府社会福祉協議会・保育部会

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426



子どもらしく のびのびと

平成18年を迎えて

保育部会長 永野 治 男



昨年、特定保育に係る国の方針が説明不足により市町村まで浸透せず、私たちが混乱したことは、今後我々がもっと十分に精査しながらの対応が必要であることを示唆しました。

また、晩秋の降って沸いた運営費の一般財源化問題には、驚きと同時に皆様の即座の対応（上京）に、心から感謝を申し上げます。介護施設は介護保険、障

「手つなぎ」新たに

保育士会長 武内 茂子



世をあげて子育て支援を声高に、多くの施策が進められています。

専門職としての保育士は、自らの経験や学びを役立て、実践展開の先頭になり活躍しているところです。

子どもたちからは、うれしそうに笑顔で遊びにさそわれ、追っかけてっこ、おすもう、ころがりっこなど、驚くべきエネルギーのキャッ

害施設は支援費、残るは保育！といわれて久しくなりましたが、中央の政治が大きな作用していることに疑いを持たないところでもあります。

先輩たちの築いてこられた官・学・民に「政」を付けないでいるところ、ここに来ていてることを認識していただきたく存じております。

日本が世界に誇る現在の「養護と教育」の保育システムに支障がないように、微力ながら皆様と共に努力して参ります。今年もよろしくご協力をお願い申し上げます。

チポールで喜びいっぱい、保育士ならではの日々を特権のように享受しています。全ての日々の過しが学びであり、研修の場の積み重ねによる実力をつけることが利用者への責務であり、世の信頼の源となります。

保育士会が倫理綱領をかかげ力強く活動できるためには、社会的信頼を得る保育の展開への一助となる機会を提案できることだと思っております。自らの研鑽により輝きが見えると、子どもたちの育ちの明かりになると信じ、お互いの手つなぎを新たにしましょう。

大阪府からごあいさつ

大阪府児童家庭室 室長 飯尾 慎太郎



昨年は、子どもが被害者となる心痛む事件が多発するなど、今日、子どもが健康な成長を阻害する

いるところですが、児童家庭室といいたしましても、総合施設や三位一体の改革などの動向を注意深く見すえながら様々な取り組みを推進してまいります。今後とも皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして、実り多き年となりますことを心から祈念いたします。

大阪府児童家庭室 家庭支援課 課長 中野 昇



子育ての負担感や不安感が増大する中、保育所は、地域における身近な子育て支援機関としてそ

庭を支援する「子育て支援保育士事業」をスタートさせたところですが、地域において、子どもが健康やかに心豊かに成長でき、保護者が安心して喜びをもつて子育てできる社会づくりのため、今後とも子育て支援の充実に取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

大阪府児童家庭室 施設課 課長 小原 伸生



近年、少子化の傾向が顕著になっておりますが、景気の低迷や共働きの一般化等により、保育需要

は、社会福祉サービスの担い手として、更なるサービスの向上を目指されていることと思っております。大阪府といたしましても、子どもの利益が守られ、保護者が安心して働くことができる環境づくりに取り組んでまいります。今後とも皆様の一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

意見交換会

ウェスティン 大阪で12月15日、保育部会とアロック役員との意見交換会を開き、大阪府をはじめ、堺市、高槻市、東大阪市の各担当部長らが出席した。

「一時保育で国に要望したことで改善され、良い対応をしていた。子育て支援保育士についても初年度のため試行錯誤があったが補助の拡大を図っていた。一方、保育所弾力運用の実施については、要件となる基準をめぐる調査が課題となっている。公立保育所の民営化の動きが活発化する中での課題もある」とあいさつ。

ご来賓の大阪府健康福祉部児童家庭室の飯尾室長から大阪府の保育行政について説明があり、保育所待機児童の状況や保育所の整備状況、入所や円滑化、来年度予算編成などについて詳しく報告がおこなわれた。その後、激動する保育事情などについて活発に意見交換がおこなわれ、今後の課題を確認し、閉会しました。

北摂ブロック保育部会 熊井茂治

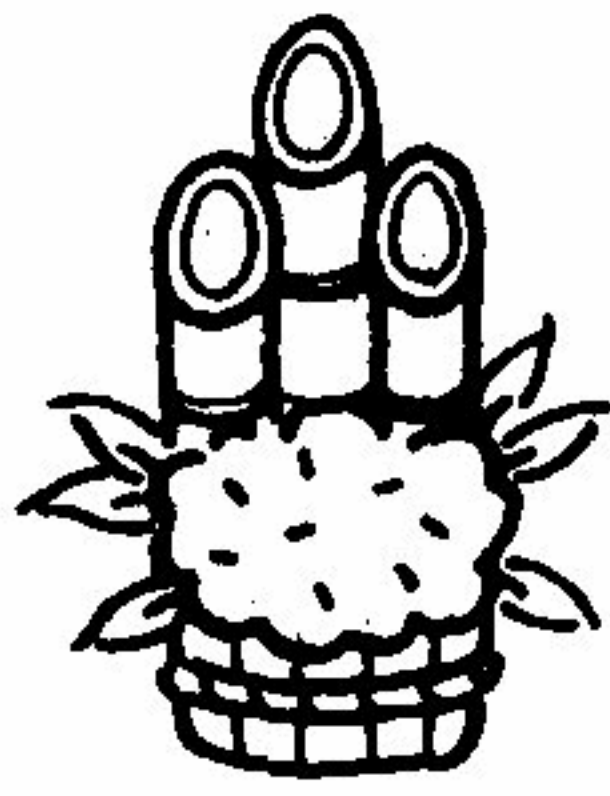
昨年は、阪神タイガースの優勝とJリーグの混戦で、我が地元ガンバ大阪の劇的な優勝と、スポーツ界では大いに沸きました。

一方その頃、全国では運営費の削減案が再浮上し、地元選出の議員への陳情や緊急集会などをおこない回避されましたが、一般財源化される覚悟も持つておく必要があると思います。

そして、許すことが出来ない、次々と起こる残酷非道な事件。私たちがやらなくてはならないことは、子どもを守るだけでなく、大きくなくなった時に愛情豊かな

南大阪ブロック民間保育園連盟 宮武勲

命を大切に作る人間に育てることではないでしょうか。戌年を迎えたいま、犬の持つ鋭い嗅覚で、福祉の流れを見定めることも必要でしょうが、「犬も歩けば棒に当る」的な運営も良いような気がします。



南大阪ブロックは例年、大運動会、サッカー大会を開催し、昨年は六百余人の子どもたちが元気に体を動かし楽しい一時を過ごせました。こうした行事が実施できるのも、運営費の安定が得られた結果かと思えます。そして昨年末には、地方六団体の運営費の一般財源化案も毎年の各組織、団

河内ブロック会 和田秀之

「三位一体改革」の名の元に、民間保育園運営費の削減（人件費を除く事業費・事務費）！驚く話はいり、ビックリ

賀春

ブロックからの
新年賀状



北大阪ブロック会 亀井信昭

昨年の晩秋に私たちが震撼させた民間保育所運営費一般財源化問題も現行制度が維持されることで落ち着きはしたものの、今後もあることができない状況です。

これら日替わりメニューのごとく策定される施策に対処するためには「組織としてのアプローチ」が重要になってきます。幸いにも当ブロックは保

泉州民間保育協議会 田中正清

体の努力により来年度も回避出来たことは市町村によって補助金のバラツキのある当ブロックに効果のあるものでした。

一時保育、特定保育など、目まぐるしく変化し、少しずつ市町村独自の裁量が進

泉州民間保育協議会 田中正清

西年の昨年は、補助金の改訂や交付金化に始まり、運営費の一般財源化問題の再燃など、干支のようにばたばたとした1年でした。

今年には忠犬ハチ公のように、朗報をじっと待つというか、落ち着いた年になればいいかと願っています。

しかし最近の情報を考えれば、時には番犬のごとく不審者（補助金の削減や無茶な制度改正）に吠えたり

堺市民間保育園連盟 池尾弘久

本年度、当連盟加盟園は、3園増え、67園になります。堺市は、全国15番目の政令市となります。ますます大きくなくなっていく連盟の組織のあり方も考えていかなければならない時期にきています。

そして2月2日・3日にかけて、府外園長研修会があります。行政説明のほか、鳴門の大塚美術館を120

既にご案内のとおり、社会福祉施設経営者部会（高岡国土部会長）老朽化予防改善事業専門委員会が国のアスベスト使用実態追加調査にあわせて開始した社会福祉施設の吹付けアスベスト調査の調査員派遣事業は、昨年末までで約150施設から申込があり、その約6割が保育所からの希望です。

吹付けアスベスト調査員の派遣ご活用ください！

調査は、大阪府都市建築士協会の協力によりおこなうもので図面等の提出、施設内を目標による有無を確認し、調査結果報告書を提出。希望のあった施設には既に順次調査がおこなわれています。国では、前回の調査で「分析調査中」と回答した施設の追加調査がおこなわれています。この調査事業について年度内は希望を受け付け調査員の派遣をおこないますので少しでもお考えの施設は、社会福祉施設経営者相談室（担当／斉藤・電話06-6762-9004）までご連絡ください。（経営者部会）

ブロックだより

これからの
保育を語る

北大阪ブロック・研修会

北大阪ブロックの研修会・懇親会がOBPに今年9月にオープンしたホテル・モ

ントレ・ラ・スール大阪で12月1日(木)おこなわれました。

研修会のI部は、永野保育部会長の基調講演でした。

前半は大阪の民間児童福祉および保育の歩みを、自らの体験をふまえて話されました。後半は、政令市や堺市を加え、民営化の流れを受け止めていかければならない、今後の保育部会のあり方について話されました。一時保育・特定保育の



講演に聞き入る参加者

問題、三位一体改革の流れの中で11月に浮上した運営費の一般財源化問題に触れ、今後は結束を強め、国や府に対して保育現場から問題提起することや、地方議会議員の理解を得ての力強い活動も必要であると、わかりやすく話されました。

第II部は、保育部会の菊

池副部会長をコーディネーターに、永野部会長と水崎副部会長、そして亀井北大阪ブロック長をパネラーとして「これからの保育を語る」パネルディスカッションがおこなわれました。個人的な体験と身近な事例が出され、広い視野からの「改革」の動向と展望を交えながらの話で、これからの保育を考えさせられました。

その後の懇親会でも行政を含む98人が参加し、活発な情報交換と歓談が繰り広げられました。

(大東わかば保育園 R・Y)

保育園をたずねて

335

高槻市

南総持寺保育園

昭和43年、総持寺団地入居と同時に団地入居者の為の保育園として、高槻・茨木市にまたがる立地に無認可保育園として発足されました。昭和53年から認可保育園として乳児保育に力を入れて来られました。

園児の体力に気を配り、体育サッカーの選任コーチを招き、キッドビクスでは、軽やかな身のこなしやリズム感を養い、スイミングにも通わせておられます。



おもちゃの遊びの様子

また、豊かな感性が育つことを願い、自然の中への散歩、絵画、製作活動を行い、英会話も取り入れておられます。やる気を育て、お互いに思いやる心を養いたいとのことでした。

団地の中のイチヨウ並木がとてもきれいで、落ち葉の感覚を楽しみながらの散歩で、空を見上げている子どもたちの姿が目につく。自然豊かな保育園でした。

笑顔いっぱい
大運動会

南大阪ブロック

11月29日に羽曳野市のはびきのコロシアムで、南大阪ブロック民間保育園連盟による、第15回大運動会が開催され、今年は23ヶ園の5歳児約600人が参加しました。

一番盛り上がったのは、毎年恒例の園対抗リレーでした。どの保育園も事前に練習をして、担任の先生の



毎年恒例の園対抗リレー

応援も自然と熱が入ります。スタートラインに並ぶ第一走者の顔はどの子も緊張気味でしたが、とてもいい顔で、まるでオリンピックの選手のような様子でした。

競争後、負けた悔しさから泣き出す子もいましたが、この経験を元にして心も体も大きく成長してもらえればと思います。



茨木市の第二末広保育園園長の中西治代さんは、昨年の叙勲で瑞宝章を受章された。このことは先月号でもご紹介したが、地域の保育ニーズに誠実に応えて来られたその功績の高い評価が勲章となった。また一乗寺学園

井上緋紗子さんは、保護司としてのご功績により瑞宝章を受章された。歩んでこられた道はそれぞれ異なるが、国の宝となる子どもたちの、また市政の、そして人の道から外れなかった人達の道しるべとなり、今なおそれぞれ分野で人々に光を与え続けておられる。3人の方々に、いつまでも健康に留意され、今後も私たち後輩のご指導にご尽力頂くことを心よりお願いしたい。

最後は全園児によるフォークダンスをしました。他園の友だちとの交流は、子どもたちにも新鮮に感じられたようで自然と笑顔が溢れ、リレーとは違った和やかな雰囲気で大会を終えました。尽力して下さった先生方のおかげで無事に大会を終えられ、子どもたちもよい経験になったことでしょう。(柳風台保育園 J・M)

発行所
大阪府社会福祉協議会
保育部 会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集人 永 水